

平成26年度

予算案と 施策



武蔵野市長
むらかみ もりまさ
邑上 守正

市政運営の基本的考え

平和で美しい都市づくり

武蔵野村が開村して125年目を迎えました。その後、震災や戦災を経験して、安全なまちづくりを基盤とし、コンパクトで利便性の高い都市として本市は発展してきました。

今後は、機能面のみならず、良好な景観形成を含めた質の高い環境を形成していかねばなりません。武蔵野らしさを磨きながら、過去から未来へつなぐ美しい都市づくりを進めます。

また、市民とともに平和活動を継続し、国内外の青少年との交流事業を平和の視点でも充実していきます。核も戦争もない平和な未来に向け、武蔵野市から「平和の声」を発信していきます。

防災・減災のまちづくり

首都直下型の大地震は、向こう30年間に7割以上の確率で発生するとの予測が

あり、あらゆる備えを進めて行く必要があります。建物の耐震不燃化の促進、災害時における地域の防災力の強化、災害時要援護者対策事業の推進など、今後も取り組むべき課題です。自らのまちは自らが守るという自治の取り組みと同時に、被害の大きな他都市への支援も視野に入れる必要があります。自治と連携の視点で災害への備えを進めます。

循環型都市づくりの推進

原子力発電に依存しない社会を目指すためにも、循環型都市づくりを積極的に進めていかなければなりません。

太陽エネルギー、地中熱、風力などによる新エネルギー供給とともに、電力需給のスマート化など地域レベルでの対応に向け研究していきます。

本市の水道水の水源の8割は地下水であること、下水処理場がなく下流域の処理場に頼っていることなどから、雨水の地下浸透を促進する水循環を推進していきます。

30年間にわたって地域のご理解を得ながら稼働してきたクリーンセンターを、最新の技術で建て替え、豊かな環境を創造する拠点として整備していきます。

一人ひとりを大切に

保育園の待機児童対策については、平成27年4月を目途に300名以上の定員拡充を図っていますが、今後の保育園の応募状況も鑑みながら待機児童対

策に取り組んでいきます。

また、公的年金制度、医療制度、介護保険制度、少子化対策などの社会保障制度の改革が予定される中、国や東京都の制度だけではカバーできない個々の市民の課題に応じたきめ細やかな福祉施策の充実を進めていきます。

誰もが安心して暮らしていくため、一人ひとりを大切にしたい施策の充実を目指します。

コミュニティの輪を広げ、地域力を育む

コミュニティ活動の担い手の固定化・高齢化という状況が見受けられます。一方で、防災や防犯、子育て支援、福祉活動などの個別分野ごとに多様な地域の団体が活動を重ねており、それぞれの団体が地域のさまざまな課題解決を図るコミュニティとして成り立っています。

さまざまなコミュニティの輪を広げ、さらに地域の力が育まれるよう、多様な活動に支えられる地域コミュニティのあり方の議論を深めていきます。

活力ある個性豊かなまちづくり

産業振興計画を踏まえて、誰もが安心して暮らし、働き、楽しむことができるまちを目指し、本市の特性を活かした都市型産業を育成するなど、まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興を図ります。

吉祥寺駅周辺は、駅ビルや南北自由通路の完成を踏まえ、今後は南口駅前広場

や周辺街区の整備に力を注いでいきます。三鷹駅周辺では、補助幹線道路や御殿山通りなどの整備を進め、低未利用地の有効活用や地域の活性化を図ります。武蔵境駅周辺では、鉄道高架化完成後の北口駅前広場や道路整備並びに周辺土地利用を進め、南北一体のまちづくりに向け都市基盤の整備を着実に進めます。

自治と連携のまちづくり

より自律的な自治体運営にあたって、二元代表制としての議会と市長の役割を明確化するとともに、本市ならではの自治のあり方を追求し、自治基本条例の制定についてさらに検討を進めます。

市民生活は、単独の自治体だけでは完結できません。本市では、さまざまな都市との連携を実践しているところですが、これからも近隣自治体や地方都市と自治体運営の課題を共有し、日常的な交流を深めながら多様な連携を進めていきます。

健全な市政運営と計画行政の推進

第五期長期計画も3年目を迎えます。今後も長期計画に基づく施策を推進しながら、新たな課題を創造性を持って解決し、市民の力を最大限活かしながら、次世代に誇りを持って継承できる持続可能な都市づくりを目指します。

（平成26年度施政方針並びに基本的施策「より要約」）

平成26年度

予算の規模とあらまし

一人ひとりを大切に 持続可能で確かな未来を築く予算

一般会計予算 **602億6000万円** [前年度比 24億7000万円増]

平成26年度の一般会計の予算規模は、前年度比4.3%、24億7000万円増の602億6000万円となりました。第五期長期計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら持続可能な市政運営を行っていくため、事務事業および補助金の見直しなどによる経費削減を行い、限られた財源を重点的かつ効率的に配分

することを基本に編成しました。

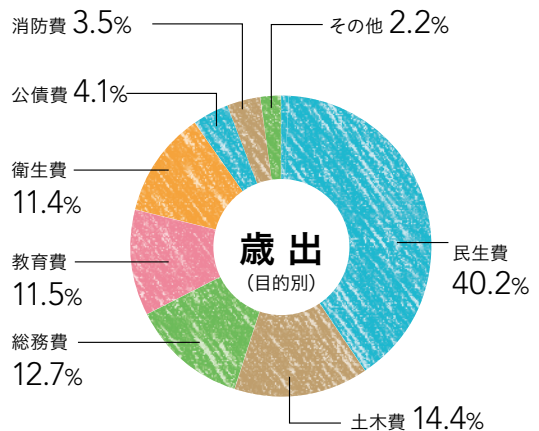
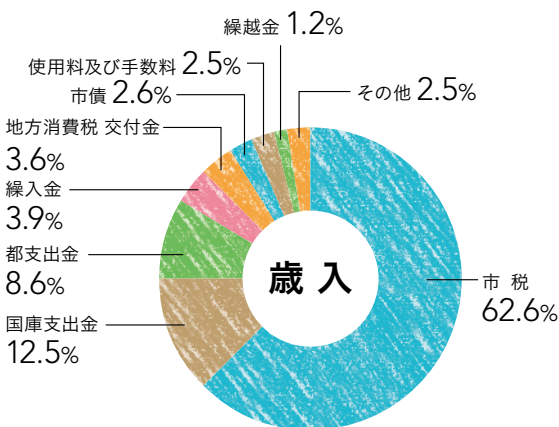
予算とは、4月から翌年3月の会計年度における収支（歳入・歳出）の見積もりで、当該年度に実施する行政サービスの内容や費用を表しています。地方自治法に基づいて市議会に予算案を提出し、3月の市議会にて審議されます。

一般会計歳入・歳出予算

歳入・歳出の増減額は以下のとおりです。

<歳入>市税は、個人市民税、法人市民税、固定資産税などの増により13億100万円の増となりました。その他、都支出金4億1200万円の増、地方消費税交付金5億1000万円の増となりました。

<歳出>歳出は、行政目的による目的別分類と、経済的性質による性質別分類の2通りがあります。目的別では衛生費が12億1600万円増となり、全体の40%を占めている民生費は8億8500万円の増となりました。性質別では、公共施設の建設および大規模改修工事や用地買収の経費である投資的経費が22億7400万円の増となりました。



主な目的別分類の説明

民生費	社会福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護などの経費、保育園や福祉施設などの管理運営など
土木費	道路・公園の整備・維持管理やまちづくりに要する経費など
総務費	企画、財務、徴税、統計、住民票・戸籍などの管理経費、庁舎の維持管理、人件費など
教育費	市立小・中学校の管理運営、図書館・武蔵野プレイス・総合体育館などの維持管理など
衛生費	各種検診や予防接種などの保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策など

市税の内訳

	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率
個人市民税	158億2560万円	151億1980万円	7億 580万円	4.7%
法人市民税	28億9380万円	25億 500万円	3億8880万円	15.5%
固定資産税	149億4390万円	147億6880万円	1億 7510万円	1.2%
都市計画税	24億1780万円	23億5430万円	6350万円	2.7%
その他	16億2668万円	16億5936万円	△3268万円	△2.0%
合計	377億 778万円	364億 726万円	13億 52万円	3.6%

市民1人あたりの予算額 []は前年度予算

市民の人数 14万527人 平成26年1月1日現在	1人あたりの予算額 42万8814円 [41万6151円]	高齢者、障害者福祉などのために 11万1975円 [11万1387円]	子育て支援のために 6万4196円 [5万9901円]
道路、公園整備など まちづくりに 6万2741円 [6万1181円]	学校教育、図書館や スポーツ振興に 4万9563円 [4万5818円]	行政運営のために 3万7956円 [4万2939円]	ごみ処理、環境保全のために 3万3714円 [2万5504円]
市債の償還に 1万7517円 [1万7871円]	市民の健康を守るために 1万6246円 [1万6220円]	消防、防災対策に 1万4897円 [1万5754円]	文化、コミュニティ、 国際交流のために 1万1836円 [1万1171円]
商業振興や消費者保護の ために 3456円 [3335円]	市議会運営に 3253円 [3556円]	その他 1464円 [1514円]	

基金（市の貯金）の状況

区分	平成26年度末 残高見込	平成25年度末 残高見込
財政調整基金	60億9391万円	60億9171万円
特定目的基金		
公共施設整備基金	111億2405万円	119億7790万円
学校施設整備基金	82億6520万円	89億 652万円
吉祥寺まちづくり基金	31億5532万円	32億 462万円
公園緑化基金	39億1653万円	42億1064万円
その他	11億8533万円	14億6355万円
合計	337億4034万円	358億5494万円

公共施設や学校などの整備・更新の財源として活用するため、公共施設整備基金や学校施設整備基金などを設け、積み立てや取崩しを行っています。

特別会計を含めた借入金（市の借金）の状況

会計名	平成26年度末 残高見込	平成25年度末 残高見込
一般会計	186億3278万円	192億7288万円
下水道事業会計	84億9308万円	75億2510万円
土地開発公社	133億4640万円	133億3387万円
合計	404億7226万円	401億3185万円

道路や公園、学校など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化することと、将来の市民にも公平に費用を負担していただくための制度です。

予算に関する資料は、市役所市政資料コーナー、市ホームページなどでご覧いただけます。

一般会計歳出予算の主な性質別構成比率

区分	平成 26年度	平成 25年度	内容
物件費	23.0%	23.8%	物品、光熱水費、委託料、借上料など
扶助費	20.4%	20.4%	福祉、医療給付費など
投資的経費	15.6%	12.3%	道路や学校などの公共施設の整備費など
人件費	15.4%	16.5%	職員給与、議員報酬など
補助費等	11.1%	12.3%	市民や各種団体に対する補助金など
繰出金	9.2%	9.2%	特別会計などに繰り出す負担金
公債費	4.1%	4.3%	借入金の返済など
その他	1.2%	1.2%	維持補修費や積立金など

会計別予算額

会計名	平成26年度	平成25年度	増減率
一般会計	602億6000万円	577億9000万円	4.3%
下水道事業会計	41億7142万円	66億2203万円	△37.0%
国民健康保険事業会計	129億5911万円	126億7076万円	2.3%
後期高齢者医療会計	33億1109万円	31億6075万円	4.8%
介護保険事業会計	105億6559万円	99億7025万円	6.0%
合計	912億6721万円	902億1379万円	1.2%

水道事業会計予算額

区分	平成26年度	平成25年度	増減率
収益的収入	37億9820万円	35億5304万円	6.9%
収益的支出	36億6011万円	35億1163万円	4.2%
資本的収入	1757万円	3674万円	△52.2%
資本的支出	9億4727万円	10億4140万円	△9.0%

で、心身ともに健康な体をつくるため、企画提案型補助金制度の創設と各種体験事業を実施する。



●若者サポート事業 200万円

地域との関わりが希薄になりやすい課題を抱えた青少年を対象に、公共施設などにおいて、学習支援を含む日常生活へのアドバイスや、将来展望の形成につながるような個別相談を行う。

より良い学びの環境づくりに向けて

桜野小学校校舎増築

1億7533万円

桜野小学校の児童数増加に対応するため、一部3階建ての増築校舎の建設を行う。



○特別支援教育の推進

1億1654万円

- ①第一小、第五小、関前南小に新たに特別支援教室を設置する。また、専門スタッフの派遣およびサポートスタッフなどの配置により指導・支援体制の充実を図る。
- ②4月から開設する井之頭小情緒障害等通級指導学級など、障害種別ごとに9校14学級の特別支援学級を運営する。

ひろがる歴史・文化の輪

●歴史資料館(仮称)の開館

1億1288万円

旧西部図書館を改修し、公文書館機能、博物館機能を有した歴史資料館(仮称)を12月に開館する。



●市民文化会館改修基本・実施設計

1億3779万円

開館30周年を迎える市民文化会館について、平成26年度に基本設計・実施設計、平成27年度に実施設計を行う。

地域経済の活性化と都市観光の推進

●創業支援

175万円

総合的な支援窓口を開設し、創業希望者への情報提供、相談などを行う。商工会議所などと連携し、創業前から事業の安定展開までの継続的な支援や、商工会議所で実施する創業塾の補助を行う。

○観光推進事業の強化

4869万円

イベント情報や各種店舗、交通機関、施設などの情報を集約し提供・発信する吉祥寺まち案内所をJRと連携し、駅舎内に設置する。また、南北自由通路リニューアル記念イベントを開催する。



安全安心なまちを目指して

生活安全対策事業

1億1128万円

吉祥寺駅周辺のミッドナイトパトロールを継続し、ブルーキャップ、ホワイトイーグル、市民安全パトロール隊とあわせて、市民や来街者が安心して暮らせるまちを目指す。



平成26年度

特徴ある事業

●:新規事業 ○:拡充事業

誰もが安心して暮らし続けられるまちへ

地域リハビリテーション推進事業

349万円

すべての市民が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、保健・医療・福祉・教育などの連携を強化し、支援体制を充実する。ひとり暮らしの高齢者、障害者などを中心に緊急医療情報キットを配布し、緊急時に救急隊や救急病院などに必要な情報が伝わる仕組みを構築する。

●高齢者安心コール事業

700万円

高齢者本人や家族、地域などからの電話相談に24時間365日対応する。特に注意を要する高齢者に定期的に電話で生活状況の確認をすることにより、地域で安全安心に暮らしていくことを支援する。



●避難行動支援体制検討委員会の設置

114万円

高齢者、障害者などの災害時要援護者を適切に安否確認し、避難誘導を行うため、消防や警察、民生委員なども含めた支援体制の再構築を目指す。

地域社会の中で安心して生活を送るために

●障害者虐待通報・緊急相談事業

234万円

24時間365日、緊急時の通報および相談に対応できる体制を確立することにより、障害のある人が地域で安心して暮らし続けられる生活環境の整備を行う。

保育所待機児童ゼロを目指して

●○待機児童対策事業

5億4250万円

増加する保育所待機児童の解消のため、認可保育園、認証保育所、グループ保育室などに補助を行い、引き続き平成27年4月までに300名以上の定員増を図る。

新規認可保育園の設置と	
既存認可保育園の建替え	定員164名
認証保育所の誘致	定員118名
グループ保育室等の設置	定員66名
家庭福祉員の増員	定員3名



●子育て支援施設「すくすく泉」のオープン

5120万円

7月の開所に向けて、吉祥寺本町3丁目に複合型の子育て支援施設を建設する。地域参加の施設運営によって、子育てひろば機能、グループ保育機能、早朝・夜間・宿泊を含む一時保育サービス機能を展開する。



子どもたちの成長と自立への支援

子ども文化・スポーツ・体験活動事業

421万円

子どもたちが体験活動を通して新たな発見や驚きを感じること

明日へつなげる下水道の整備

浸水対策事業

8億9685万円

集中豪雨などによる都市型水害の軽減を図り、地下水その他自然環境の保全および回復を目的に実施する。

- ①北町保育園建て替えに合わせ4500㎡の雨水貯留槽を設置する。
- ②雨水浸透施設を設置する者に対して助成金を交付し、治水、水循環の推進を図る。

女子大通り幹線管きょ更生工事

3億6810万円

市の主要な管きょである女子大通り幹線の長寿命化を図るため、平成25年度に引き続き29年度までの5ヵ年で、約800mの管きょの更生工事を行う。

●石神井川排水区雨水幹線整備事業

3億3297万円

石神井川へ放流される3本の下水道管について、管路の敷設替えおよびルート整理を行う。

●区部流入増補管きょ整備事業

2億7000万円

女子大通り幹線から流入する東京都の善福寺川上幹線の慢性的な満管状態を解消するために、本市の専用管を整備する。

3駅周辺のまちづくりの推進

●京王井の頭線吉祥寺駅ホームドア設置

500万円

プラットフォームからの転落事故防止などに効果の高いホームドアを鉄道事業者が整備するにあたり、国・東京都と協力して事業支援を行う(平成26～27年度)。



都市計画道路

7・6・1号線(御殿山通り)事業

2億3680万円

三鷹駅から井の頭公園へのアクセス道路として、玉川上水の景観に配慮した歩行者に優しい快適な道路整備を図るため、連携引込管設置工事及び道路整備工事を進める。



武蔵境駅周辺整備事業

10億9637万円

武蔵境駅北口広場の整備をはじめ、誰もが利用しやすい駅周辺の環境を整備するため、道路整備工事、電線類地中化工事などを実施する。



●武蔵境駅北口第二自転車駐車場再整備

9200万円

収容台数を約1050台から約1600台に拡充し、短時間無料制度や満空車情報の導入などにより利便性の向上を図る(平成26～27年度)。

計画的・効率的な行政運営

●第五期長期計画・調整計画(平成28～32年度)策定

1608万円

市民委員による策定委員会をはじめとする武蔵野市方式を継承し、平成26年度・27年度の2ヵ年にわたり市民参加、議員参加、職員参加で調整計画の策定を行う。

事務事業見直し・補助金見直し 削減額

2億3325万円

事務事業の見直し、職員定数の適正化、補助金の見直しおよび枠配分予算の実施により経費削減を実現した。

○災害時の避難体制の確立

950万円

- ①吉祥寺駅周辺の事業者、交通機関、警察、消防、行政などの連携により、帰宅困難者対策訓練を実施する。三駅周辺の帰宅困難者を受け入れる公共一時滞在施設用飲料水やクラッカーなどを備蓄し、体制の拡充を図る。



- ②避難者の健康維持のための赤外線暖房機、扇風機、および停電時の安全確保のためのコンパクトLEDライトを各避難所に配備する。

災害に備えた防火・防災施設の整備

1億3006万円

- ①武蔵境北口駅前と(仮称)吉祥寺東町一丁目公園に防火水槽を設置する。
- ②本宿小、関前南小、第一中、第四中に災害用トイレ各10基(一般用8基、だれでもトイレ2基)を整備する。
- ③避難所(第四小、本宿小)の既存太陽光発電システムに自立運転機能を付加し、停電時の活用を可能にする。

新クリーンセンター建設とごみ減量化へ向けて

新武蔵野クリーンセンター(仮称)

建設事業

15億4630万円

工事予定地内の工作物撤去などの準備工事を4月までに終え、本工事に着手し、掘削工事を中心として地下部分の工事を進める。



新武蔵野クリーンセンター(仮称)

施設・周辺整備事業

1257万円

施設・周辺整備協議会の報告や地域住民などの意見を踏まえながら、引き続き施設・周辺整備の検討を進める。また、ごみ減量・環境啓発イベントや講座を実施する。

緑豊かな潤いのあるまちへ

水と緑のネットワーク事業

19億2065万円

- ①緑の拠点：公園施設の拡充(6000㎡)…(仮称)吉祥寺東町一丁目公園、(仮称)御殿山二丁目ポケットパーク、(仮称)美大通り西緑地、すくすく泉公園、農業ふれあい公園(拡充)など。/公園用地の取得(3714㎡)…(仮称)美大通り西緑地、すくすく泉公園、農業ふれあい公園、グリーンパーク緑地。
- ②水辺環境：市内唯一の一级河川である仙川を身近で自然豊かな河川として整備するため、設計、施工、維持管理を行う。



●水の学校(仮称)事業

295万円

水環境の保全などについて、広く市民に啓発するとともに、自発的な市民活動を促進する。水をテーマとした多様な講座を企画・運営する。

環境舗装事業

9380万円

雨水流出抑制、地下水のかん養および水溜り発生の低減などによる歩行環境の改善を図るため、透水性舗装および道路雨水ます浸透化工事を施工する。

平成26年度

予算の主要な施策

第五期長期計画の分野別と基本施策ごとの事業
(一般会計・特別会計を含む)

●:新規事業 ○:拡充事業

1 健康・福祉

□ 支え合いの気持ちをつむぐ

災害時要援護者対策事業	334万円
生活保護世帯援護事業	40億1531万円

□ 誰もが地域で安心して暮らしつづけられる 仕組みづくりの推進

地域リハビリテーション推進事業	349万円
● 高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画の策定	634万円
● 高齢者安心コール事業	700万円
認知症高齢者支援事業	1614万円
● 障害者計画の改定	641万円
○ 障害児放課後対策事業の充実	2447万円
障害者への相談支援体制の強化	1億3687万円
● 障害者虐待通報・緊急相談事業	234万円
● 避難行動支援体制検討委員会の設置	114万円

□ 誰もがいつまでも健康な生活を送るための 健康づくりの推進

● 地域医療のあり方検討委員会(仮称)の設置	129万円
母子保健事業	1億8768万円
予防接種事業	3億2514万円
がん検診事業	1億3675万円

□ 住み慣れた地域での生活を継続するための 基盤整備

障害者グループホーム等給付事業	3億162万円
-----------------	---------

2 子ども・教育

□ 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援

第四次子どもプラン武蔵野の策定	338万円
私立幼稚園等助成事業	4億3597万円
子ども家庭支援センター事業	3659万円
保育の質向上の取り組み	364万円
● 保育料審議会の開催	146万円
● グループ保育室3施設の開設	3263万円
● 認証保育所3施設の誘致	1億1071万円
● 認可保育園2園の誘致及び既存認可保育園1園の建て替え	3億6671万円
● 桜堤児童館2階を活用した緊急待機児童対策事業	2866万円
認可外保育施設入所児童 保護者助成金の交付	1億517万円
ひとり親家庭医療費助成事業	2464万円

□ 地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実 子育て支援事業

1238万円

□ 青少年の成長・自立への支援

地域子ども館事業	1億2630万円
学童クラブ事業	2億2024万円
児童館運営事業	1440万円
むさしのジャンボリー事業	1373万円
● 若者サポート事業	200万円
○ 子ども文化・スポーツ・体験活動事業	421万円
土曜学校事業	259万円

□ 子ども・子育て家庭を支援する体制・施策の整備

● すくすく泉のオープン	5120万円
--------------	--------

□ 次代を担う力をはぐくむ学校教育

学校教育計画及び特別支援教育推進計画の改定	253万円
● 教育推進室(仮称)の設置	1107万円
● 学校施設整備基本方針の策定	252万円
桜野小学校校舎増築	1億7533万円
少人数指導及び学習支援教室等の推進	3174万円
セカンドスクール	1億2757万円
○ 特別支援教育推進事業	4394万円
○ 特別支援学級の運営	8044万円

3 文化・市民生活

□ 地域社会と市民活動の活性化

コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動	4億1274万円
これからの地域コミュニティの検討	670万円

□ 互いに尊重し認め合う平和な社会の構築

平和啓発事業	231万円
男女共同参画施策事業	457万円

□ 市民文化の醸成

● 市民文化会館改修基本・実施設計	1億3779万円
○ 観光振興事業	4369万円
● 歴史資料館(仮称)の開館	1億1288万円

□ 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援

ひとまち・情報創造館 武蔵野プレイスの管理運営	5億5385万円
陸上競技場第3種公認検定の更新(改修工事など)	5253万円
図書館資料収集・保存	1億3427万円
児童を対象とした図書サービス	1167万円

□ 地域の特性を活かした産業の振興

認定農業者経営改善支援補助事業	250万円
市民農園維持管理事業	1974万円
● 創業支援	175万円
新・元気をらせ商店街事業	4733万円
商店街活性化・商店会組織力強化のための企画提案型補助金	600万円
● 吉祥寺駅南北自由通路 開通記念イベント補助	500万円

5 都市基盤

□地域の特性に合ったまちづくりの推進

景観まちづくりの展開	472万円
景観道路事業	8億9157万円

□都市基盤の更新

●道路ストック総点検(路面下空洞調査を含む)	6886万円
道路新設改良事業	1億4121万円

□利用者の視点を重視した 安全で円滑な交通環境の整備

○吉祥寺駅前総合案内板設置	636万円
●京王井の頭線吉祥寺駅ホームドア設置	500万円
●武蔵境駅北口第二自転車駐車場再整備	9200万円

□道路ネットワークの整備

狭あい道路拡幅整備事業	6035万円
都市計画道路7・6・1号線(御殿山通り)事業	2億3680万円

□下水道の再整備

●下水道使用料検討委員会	250万円
●水の学校(仮称)事業	295万円
●区部流入増補管きょ整備事業	2億7000万円
●石神井川排水区雨水幹線整備事業	3億3297万円
公共下水道建設事業	1億600万円
雨水貯留施設設置事業	8億7685万円
公共下水道耐震化事業	3000万円
女子大通り幹線管きょ更生工事	3億6810万円

□三駅周辺まちづくりの推進

吉祥寺駅改良整備事業	645万円
●吉祥寺地区まちづくり検討調査	350万円
都市計画道路3・3・23号線(武蔵境駅北口)事業	9億7345万円

□安全でおいしい水の安定供給

配水管網整備の推進	3億2370万円
浄水場・取水施設改良工事	1億8828万円

6 行・財政

□市民に届く情報提供と市民要望に 的確に応える仕組みづくり

市民と市長のタウンミーティング	112万円
-----------------	-------

□公共施設の再配置・市有財産の有効活用

公共施設改良保全整備	823万円
公共施設劣化保全整備	4億518万円

□社会の変化に対応していく行財政運営

●第五期長期計画・調整計画策定	1608万円
-----------------	--------

□チャレンジする組織風土の醸成と 柔軟な組織運営

○人事評価制度の改善	150万円
------------	-------

○吉祥寺ウェルカムキャンペーン補助	730万円
○小規模企業者等への利子補給などの補助事業	8543万円

□都市・国際交流の推進

海外との交流事業	1637万円
友好都市交流事業	479万円
友好都市アンテナショップ運営事業	571万円

□災害への備えの拡充

○耐震アドバイザー派遣事業	921万円
建築物耐震性相談事業	126万円
耐震診断助成事業	1756万円
民間住宅耐震改修助成事業	3300万円
緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	3億9559万円
防火水槽2基の新設	3990万円
帰宅困難者対策訓練の実施	125万円
●公共一時滞在施設への帰宅困難者用備蓄の配備	237万円
市立小・中学校4校への災害用トイレの整備	6372万円

□多様な危機への対応の強化

生活安全対策事業(ホワイトイーグル・ブルーキャップ・市民安全パトロール隊・ミッドナイトパトロール)	1億1128万円
消費生活センターの管理運営	1568万円

4 緑・環境

□市民の自発的・主体的な行動を促す支援

緑の表彰・顕彰制度	58万円
-----------	------

□環境負荷低減施策の推進

●市域のエネルギー需要削減手法検証事業	400万円
●環境基本計画の策定	274万円
●環境マネジメントシステムの見直し	151万円
○効率的なエネルギー活用推進助成事業	1801万円
○太陽光発電システム設置・改良事業	5950万円
L E D街路灯事業	1000万円
環境舗装事業	9380万円

□「緑」を基軸としたまちづくりの推進

公園等建設事業(千川上水整備事業を除く)	18億5931万円
千川上水整備事業	2960万円
仙川水辺環境整備事業	3174万円
未来へ育て! 苗木すくすく大木計画	105万円

□循環型社会システムづくりの推進

●一般廃棄物処理基本計画改定	285万円
剪定枝葉資源化事業	1351万円
集団回収事業	4279万円
ごみ減量協働事業	112万円
ごみ組成分析調査	221万円
塵芥処理事業(収集委託料)	11億5841万円
新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業	15億4630万円
新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備事業	1257万円